

20 文化芸術の振興			
19 芸術・文化の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	渡辺 賢治	電話番号	042-481-7541
関係課名 (組織順)	協働推進課, 産業振興課, 環境政策課, 社会教育課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	文化芸術にふれる機会が提供され, 文化芸術活動が活発になる	
施策の方向	地域の有形・無形の文化的資源がまちづくりに生かされ, まちへの愛着が深められるとともに, 誰もが多彩な文化芸術活動を楽しみ, 身近に質の高い文化芸術に触れる機会を通して, 豊かな心を涵養し, 創造性を育むまちを目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の振返り — 取組実績（DO）

◆ 令和4年度における取組実績の振返り

<p>施策の成果向上に向けた主な取組実績 【前期基本計画（令和5年度～令和8年度）の基本的取組毎に記載】</p> <p>施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p> <p>（20-1 市民の文化芸術活動の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき, 文化芸術に触れる機会の提供と自ら文化芸術活動を行うことができる環境づくりに向け, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする多様な主体との連携の下, 感染症対策に取り組みながら, 幅広い分野と連携した様々な事業を実施した。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, オンラインを活用した映像配信やワークショップなど, コロナ禍にあっても創意工夫を講じながら, 多様な主体との連携の下, 「調布国際音楽祭」, 「調布よさこい」, 「調布市民文化祭」, 「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする調布の文化資源を生かした各種事業を展開した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく市民の文化芸術活動の促進に向けて, スポーツ, 国際交流, 教育, 産業, 福祉など, 幅広い分野との連携や地域固有の文化資源の活用を図りながら, 各種取組を展開した。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 文化施設3館（文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場）の一体的な事業展開に加え, 郷土博物館や武者小路実篤記念館とも連携を図りながら, 各種事業に取り組んだ。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 ・感染症対策をはじめ, 施設利用者の安全・安心の確保に努めながら, 市内の活気やにぎわいを創出し, うるおいや安らぎをもたらす市民の文化芸術活動の促進に向け, 多様な主体と連携を図りながら取り組んだ。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 2019年・2020年に向けた財団独自の次世代継承のテーマとして「100年後の君へ。」を掲げ, 多分野に渡る各種事業を積み上げてきた。令和4年度は, 東京2020大会のレガシー継承のため, 文化芸術や生涯学習, コミュニティに係る各種事業において, 地域の文化資源の活用や次世代への伝統文化の継承に加え, 次世代を担う芸術家の育成に取り組むとともに, 共生社会の実現に向けて取り組んだ。 ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」 ・市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」では, 「調布よさこい」と連携し, 福祉作業所等で制作された色とりどりの大旗が会場を彩ったほか, 事業者との連携の下, トリエ京王調布でのパラアート作品の展示を通して, 共生社会の実現に向けた取組の普及・啓発に努めた。また, パラアート展の来場者用ワークショップとして, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団主催事業「クリエイティブリユースでアート!」と連携し, 「調布の廃材から生き物をつくろう!」を実施した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10回目の節目を迎えた「調布国際音楽祭」では, バッハ・コレギウム・ジャパンとの連携の下, 深大寺本堂を会場とする調布ならではの公演のほか, 桐朋学園大学学生や市民演奏家による公演及び公募した若手演奏家で編成するオーケストラなど, 次世代の演奏家や鑑賞者の育成の視点で展開するプログラムに加え, 調布での出演は30年振りとなるNHK交響楽団が出演し, 芸術性の高いプロの公演を身近に楽しむことのできるプログラムにより, 来場者数は過去最多となる9500人余となった。 ・映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」ならではの特色を生かし, 市内の関連企業・団体と連携し, 映画の作り手にスポットを当てた映画祭として, 「第5回映画のまち調布 シネマフェスティバル」を開催し, 市民投票1万6142票による上位作品の上映や関連作品の展示等を行い, 過去最多となる4万人余の参加となった。
--

(20-2 文化芸術施設の整備・運営)

- ・指定管理者である(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との定期的な会議や日常的な情報共有により、利用者の立場に立った、安全・安心で快適な施設利用を目指した運営に取り組む中、十分な感染症対策を講じ、市民の安全・安心の確保を第一とし、様々な文化芸術活動を楽しむことができる環境づくりに努めた。
- ・公共建築物維持保全計画に基づき、施設の計画的な維持管理に取り組んだ。その中で、文化会館たづくりでは、展示室の内装修繕や令和3年度から2箇年の工事となるくすのきホール等の非構造部材の改修工事のほか、くすのきホールの調光設備更新工事や非常用電源設備整備工事に加え、前年度に着工した設備更新型E S C O事業に引き続き取り組んだ。
- ・文化施設3館の運営においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用人数等の制限や施設利用キャンセルに伴う利用料金の還付を行った。
- ・新たなグリーンホールの整備に向けた取組では、施設や設備の老朽化への対応をはじめ、施設利用団体等との意見交換を通じていただいたバリアフリーや動線、化粧室等の課題整理を踏まえ、他自治体への視察とともに、新たなホールの整備に向けた財政面の課題や民間活力の活用による整備手法の検討に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

- ・令和元年台風第19号を踏まえた風水害時における文化会館たづくり及びグリーンホールの避難所対応や、震災時の帰宅困難者受入れのための一時収容施設としての対応について、施設利用計画を含む避難所等開設マニュアルの策定に向け、災害時協力協定を締結する(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、避難所開設訓練に取り組んだ。

②調布のまちの魅力発信

- ・文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場の文化施設3館それぞれの特色や地域性を生かしながら、効果的な広報や広域的な事業展開など、スケールメリットを生み出しながら、文化芸術の一層の発展に向けた環境づくりを推進した。

◆(参考)令和元年度～令和3年度における施策の成果向上に向けた主な取組実績

(市民の文化芸術活動の促進)

- ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、コロナ禍にあってもオンラインを活用した映像配信やワークショップの実施など、創意工夫を講じながら、多様な主体との連携の下、市民の文化芸術活動の促進・支援に取り組んだ。
- ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、東京2020大会に向けて取り組んできた音楽、演劇、伝統芸能など多岐に渡る取組について、多面的効果をもたらすよう各種事業を展開するとともに、オリンピック開催期間に合わせた「たづくりアスリートワンダーウォール」を実施するなど、芸術・文化の振興による機運醸成や魅力発信につなげた。
- ・「パラアート展」では、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、パラリンピック開催期間に合わせた展示を実施するとともに、関係団体と障害者による芸術活動の支援に関する先駆的な取組を学ぶ機会を設け、今後の継続的かつ発展的な事業展開に向けた検討を進めた。
- ・文化施設3館の指定管理者である(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、年齢、性別、国籍、障害の有無などを問わず、全ての人が芸術・文化に親しむことができる施設となることを目指した「パラ劇場」研修を実施している。令和3年度はその一環として、集団補聴システムの活用のほか、一部公演において点字台本や音声チラシ等を作成するとともに、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、市内特別支援学校との連携により、子ども達の音楽分野のワークショップへの参加に向けた準備を行った。

(文化芸術施設の整備・運営)

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、施設の利用停止や利用人数等の制限がある中においても、感染拡大防止対策を徹底し、市民が安心して活動できる環境づくりに努めた。
- ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、窓口での対応やアンケートなど、多様な手段を通じて、利用者のニーズの把握に努めながら、安全・安心で快適な施設利用を目指した運営に取り組み、利用者アンケートにおける文化施設3館の満足度は97.2%となった。
- ・新たなグリーンホールの整備に向けた取組については、ホール設備の他自治体事例の視察を行ったほか、施設整備に向け施設利用団体と情報共有を図りながら、整備手法、コストに関するシミュレーション等を踏まえた検討に取り組んだ。
- ・令和元年台風第19号を踏まえた風水害時における文化会館たづくり及びグリーンホールの避難所対応や、震災時の帰宅困難者受入れのための一時収容施設としての対応について、施設利用計画を含む避難所等開設マニュアルの策定に向け、災害時協力協定を締結する(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、避難所開設訓練に取り組んだ。

施策における2つのアクション(①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)の視点に基づく主な取組実績

- ・「パラアート展」では、公共施設に加えてトリエ京王調布での作品の展示や「調布よさこい」と連携した大旗などを通じて、多様な主体との連携の下、共生社会の実現に向けた取組の普及・啓発に努めた。
- ・令和元年台風第19号を踏まえ、風水害時における文化会館たづくり及びグリーンホールの避難所対応や、震災時の帰宅困難者受入れのための一時収容施設としての対応について、災害時協力協定を締結する(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により、避難所開設訓練に取り組んだ。

◆まちづくり指標の現状把握

まちづくり指標	単位	実績値				目標値	指標の推移※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
1 1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合	%	51.1	42.6	49.9	44.7	60.0	▼
2 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（ホール系・会議室系）（上段：ホール系、下段：会議室系）	%	85.0 79.8	62.5 64.5	75.3 71.5	85.4 76.9	87.0 80.0	○

※令和4年度における指標の推移は、以下の区分により記号を記入

◎：目標値を達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ）
－：数値未把握（調査未実施など）

◆指標でみる後期基本計画期間内（令和元年度～令和4年度）の達成状況

各指標の達成状況及び説明	
No.	指標名
説明（目標達成・未達成の要因、課題、今後の取組の方向等）	
1	1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、後期基本計画期間内における文化芸術活動に一定の制限があったことが実績値に反映したものと捉えている。 ・文化施設3館のスケールメリットを生かした連携により、施設毎に作成していたホームページの統合や、財団報「ばれっと」による一体的な広報活動等ができ、市内文化施設に対する認知度の向上に取り組んでいる。 ・各文化施設では、令和3年度から4年度にかけて、一部の施設の利用停止を伴う工事等があったことから、他の活動場所の案内による文化芸術活動の継続に向けて取り組んだ。
2	文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（ホール系・会議室系） ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、施設の利用停止や利用人数等の制限がある中においても、感染拡大防止対策を徹底し、市民が安心して活動できる環境づくりに努めた。 ・新型コロナウイルスの影響により、一部施設の利用停止や利用制限に加え、施設利用のキャンセルに伴う利用料金の還付を行った。 ・施設利用率は、感染症の感染状況に応じて変動し、令和4年度は感染拡大以前と同水準となった。 今後は、こうした明るい兆しを継続して実感できるよう、施設や設備の老朽化への対応をはじめ、適切な改修工事等について、計画的な施設運営に取り組む

《参考》前期基本計画（令和5年度～令和8年度）における「まちづくり指標」

まちづくり指標	まちづくり指標の考え方	単位	基準値	目標値
1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合	文化・コミュニティ振興財団をはじめ、関連団体との連携により、文化施設を中心とした市内公共施設における魅力ある事業展開により、市民の65パーセント以上が公共施設において文化芸術にふれあうことを目標とした。	%	44.5 令和4年度	65.0 令和8(2026)年度
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（ホール系・会議室系）	市民の文化芸術活動の拠点となる施設の適切な維持管理や運営により、より多くの方に施設を活用いただくことを目標とした。	%	(ホール系) 85.4 (会議室系) 76.9 令和3年度	(ホール系) 90.0 (会議室系) 85.0 令和8(2026)年度

2 令和4年度の振り返り及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の取組状況 — 評価（CHECK）

◆ 施策の成果向上に向けて、令和4年度及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に実施した取組に対する評価

総合評価 (令和4年度)	A	<p>S:「実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」 A:「実施した取組において予定した取組成果が得られた。」 B:「実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」 C:「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D:「実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
総合評価 理由	<p>令和4年度における施策の成果についての総括（総合評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、市民が文化芸術に触れる機会の提供と自ら文化芸術活動を行うことができる環境づくりに向け、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする多様な主体と連携を図りながら、コロナ禍においても調布の文化資源を生かした各種事業を展開した。 ・市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」では、「調布よさこい」と連携し、福祉作業所等で制作された色とりどりの大旗が会場を彩ったほか、トリエ京王調布でのパラアート作品の展示を通じて、共生社会の実現に向けた取組の普及・啓発に努めた。 ・10回目の節目を迎えた「調布国際音楽祭」では、深大寺本堂を会場とする調布ならではの公演のほか、桐朋学園大学学生や市民演奏家による公演及び公募した若手演奏家で編成するオーケストラなど、次世代の演奏家や鑑賞者の育成の視点で展開するプログラムに加え、調布での出演は30年振りとなるNHK交響楽団が出演し、芸術性の高いプロの公演を身近に楽しむことのできる機会を通じて、来場者数は過去最多となる9500人余となった。 ・映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」ならではの特色を生かし、市内の関連企業・団体と連携し、映画の作り手にスポットを当てた映画祭として、「第5回映画のまち調布 シネマフェスティバル」を開催し、市民投票1万6142票による上位作品の上映や関連作品の展示等を行い、過去最多となる4万人余の参加となった。 ・文化会館たづくり展示室の内装修繕や、くすのきホール等の非構造部材の改修工事のほか、前年度に着工した設備更新型ESCO事業に引き続き取り組み、公共建築物維持保全計画に基づく施設の計画的な維持管理に取り組んだ。 	
総括評価 (令和元年度か ら令和4年度)	A	<p>S:「計画期間中に実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」 A:「計画期間中に実施した取組において予定した取組成果が得られた。」 B:「計画期間中に実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」 C:「計画期間中に実施した取組においてあまり取組成果が得られなかった。」 D:「計画期間中に実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
総括評価 理由	<p>後期基本計画（令和元年度～令和4年度）における施策の成果についての総括（総括評価の理由）／今後に向けた課題・懸案事項</p> <p>（総括）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、誰もが、音楽・演劇をはじめ、映画・美術・伝統芸能・スポーツなど、様々な活動を楽しむことができるよう、多様な主体との連携の下、コロナ禍にあってもオンラインを活用した映像配信やワークショップの実施など、創意工夫を講じながら、身近に文化芸術に触れる機会を継続的に設けることができた。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、2019年・2020年に向けた財団独自の次世代継承のテーマとして「100年後の君へ。」を掲げて多分野に渡る各種事業を展開し、芸術文化の取組を通じた機運醸成やまちの魅力発信につながるよう努めた。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、東京2020大会に向けて取り組んできた音楽、演劇、伝統芸能など多岐に渡る取組について、多面的効果をもたらすよう各種事業を展開するとともに、オリピック開催期間に合わせた「たづくりアスリートワンダーウォール」を実施するなど、芸術・文化の振興による機運醸成や魅力発信につなげた。 ・パラアート展では、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、福祉作業所等連絡会をはじめ、特例子会社等の参加団体が増え、障害者の文化芸術活動の機会の拡充につながっている。 ・文化施設3館の指定管理者である(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により、安全で利便性の高い施設運営に向けて、公共建築物維持保全計画に基づく施設の計画的な維持管理に取り組んだ。 ・新たなグリーンホールの整備に向けて、ホール設備の他自治体事例の視察を行ったほか、施設利用団体と意見交換を行いながら、整備手法やコストに関するシミュレーション等を踏まえた検討を進めた。 ・令和元年台風第19号を踏まえ、風水害時における文化会館たづくり及びグリーンホールの避難所対応や、震災時の帰宅困難者受入れのための一時収容施設としての対応について、災害時協力協定を締結する(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により、避難所開設訓練に取り組むことができた。 <p>（課題・懸案事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなグリーンホールの整備に向けた市民参加を実践するとともに、民間活力の活用による施設整備に向け、多彩な文化芸術を創造するホールを核とした、まちの魅力を高める複合施設の整備に向けて、専門家等からの意見を踏まえながら検討を進める。 ・災害時における協力協定に基づき、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、避難所開設訓練を継続的に実施するとともに、フェーズフリーの視点を踏まえ、災害時の施設の活用等について検討する。 	

3 中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	①文化芸術基本法改正（平成29年6月） 【改正趣旨】文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策を本法の範囲に取り込むとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用する。	①②③④⑤⑥⑦⑧「芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」や東京2020大会に向けた各種取組を踏まえ、これまでの文化芸術振興にかかわる取組を体系的に整理するため、「(仮称)調布市文化芸術振興ビジョン」の策定に取り組む。 ①文化芸術基本法では、文化芸術の振興に向けて、福祉・教育・産業など幅広い分野との連携について盛り込まれており、更なる横断的連携の強化が求められる。 ①②③⑤年齢、障害の有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができる環境整備を図る。 ②「パラアート展」を発展的に展開していくため、福祉作業所等連絡会をはじめとする関係団体との連携の下、先進事例の研究や試行的な取組を重ねながら、市の「パラアート展」の目指すべき方向を整理する。 ④(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする市民団体、事業者等と連携・情報共有を図りながら、それぞれのニーズに即した活動への支援を検討・実施する。 ⑥新たなグリーンホールの整備に向けた市民参加を実践するとともに、民間活力の活用による複合施設としての整備に向け、多彩な文化芸術を創造するホールを核とした、まちの魅力を高める複合施設整備に向けて、検討会を設置し、専門的な見地から検討を行う。 ⑦災害時協力協定に基づき、避難所開設訓練を継続的に実施するとともに、災害時の施設使用等についてフェーズフリーの視点を踏まえ、必要な対応を整理する。
	②第2期「文化芸術推進基本計画」の策定（令和5年3月） 【重点取組】1 ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進 2 文化資源の保存と活用の一層の促進 3 文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成 4 多様性を尊重した文化芸術の振興 5 文化芸術のグローバル展開の加速 6 文化芸術を通じた地方創生の推進 7 デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進	
東京都や近隣自治体の動向等	③障害者による文化芸術活動の推進に関する法律（平成30年6月施行）	
	④東京都「未来の東京」戦略 version up 2022 策定（令和4年2月） 【具体的な取組】「戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略」の中で「芸術文化・エンターテインメントがあふれる日常を取り戻す仕掛けを打つ」と位置付け ⑤「文化芸術推進基本計画」策定状況（令和5年4月時点） ・策定済：15区、8市（八王子市、府中市、昭島市、小金井市、小平市、国分寺市、国立市、西東京市） ※多摩市は、令和6年度策定（予定） （うち、②に基づく計画として位置付けているものは板橋区のみ）	
その他	⑥新たなグリーンホール整備に向けた多様な市民参加による検討 ⑦(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団と災害時協力協定締結（令和3年9月） ⑧(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団基本計画（令和元年度～10年度）について、令和4年度の第三者評価の結果を踏まえて必要な見直しを図る。	

◆前期基本計画期間（令和5年度～令和8年度）における中長期的な取組の方向

<ul style="list-style-type: none"> ・「芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」や東京2020大会を契機とした各種取組を踏まえ、これまでの文化芸術振興にかかわる取組を体系的に整理するため、「(仮称)調布市文化芸術振興ビジョン」の策定に取り組む。 ・年齢や障害の有無等に関わらず、等しく文化芸術を鑑賞・参加・創造することができる環境整備を図る。 ・「パラアート展」を発展的に展開していくため、福祉作業所等連絡会をはじめとする関係団体との連携の下、先進事例の研究や試行的な取組を重ねながら、市の「パラアート展」の目指すべき方向を整理する。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする多様な主体と連携を図りながら、文化芸術の振興に取り組む。 ・新たなグリーンホールの整備に向けた市民参加を実践するとともに、民間活力の活用による施設整備に向け、多彩な文化芸術を創造するホールを核とした、まちの魅力を高める複合施設の整備に向けて、様々な分野からの専門家等で構成する検討会において検討を進める。 ・災害時における協力協定に基づき、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連携の下、避難所開設訓練を継続的に実施するとともに、フェーズフリーの視点を踏まえ、災害時の施設使用等について検討する。
<p>施策の推進、成果向上の視点を踏まえた具体的な取組</p>
<p>デジタル技術の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「文化芸術推進基本計画（第2期）」における7つの重点取組の1つに位置付けられた「デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進」を踏まえた取組（文化芸術のデジタル・アーカイブ化の促進、デジタル技術を用いた文化財の保存・活用）を検討する。 ・文化財の保存や展示機会の充実の観点から、資料のデジタル保存や映像配信などの多様な鑑賞機会の提供に取り組むとともに、メディアアートの更なる振興など、デジタル技術を活用した事業展開を検討・推進する。 ・権利保護と利用の円滑化を踏まえた事業の推進について検討する。

共創のまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・映画・映像関連企業の集積を生かし、関連企業や団体、シネマコンプレックス等と連携した「映画のまち調布 シネマフェスティバル」のほか、世界的に活躍するアーティストを数多く輩出している桐朋学園やバウハ・コレギウム・ジャパンを中核に据えた「調布国際音楽祭」、市民の文化芸術・学習活動の発表の場である「調布市民文化祭」など、市民が文化芸術に触れる機会の確保に取り組む。・市内文化施設3館の指定管理者として施設の管理運営を担い、安心・安全で快適な施設利用サービスと市民ニーズに応じた事業を行う（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により、更なる文化芸術の振興に取り組む。・名誉市民である水木しげる氏や、つげ義春氏の漫画家に加え、熊井啓氏や木村威夫氏などの映画人や、安部公房や大岡信などの作家のほか、関野準一郎氏や中川平一氏などの画家など、調布ゆかりの文化人の魅力や功績を効果的に発信する。
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度に着工した文化会館たづくり設備更新型E S C O事業（令和5年6月事業完了）により、環境に配慮した施設運営に取り組む。
フェーズフリー	<ul style="list-style-type: none">・（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団と締結した災害時協力協定に基づき、避難所開設訓練を継続的に実施するとともに、災害時の施設使用等についてフェーズフリーの視点を踏まえ、必要な対応を整理する。

施策20「文化芸術の振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	66	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	総合戦略	●
	事務事業	文化芸術事業の実施					
後期※	計画コード	61	重点P		—	総合戦略	●
	事務事業	芸術・文化事業の実施					
所管部署 生活文化スポーツ部 文化生涯学習課 文化生涯学習係							
事業概要 文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場での音楽、演劇、映画などの鑑賞及び参加型の事業を実施する。 各事業の実施に当たっては、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を踏まえ、3つの文化施設の更なる連携と（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団のノウハウを生かした効果的・効率的な事業展開を図る。また、パラアート展を開催するなど、文化芸術活動を通じた共生社会の充実に向けた取組を進める。 ※事業費については、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の施設管理を含む（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団への指定管理料と財団の自主事業に対する補助金を計上							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団による、文化会館たづくり、グリーンホールにおける「芸術振興事業」、「施設管理運営」等指定管理事業の実施 ○財団による独自、共催事業の実施	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業
事業費（千円）		1,194,699	1,193,693	1,153,696
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	---	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団において音楽・映画・美術観賞等、各種文化芸術事業を実施した。文化会館たづくり指定管理事業では、市と連携しながら「水木しげる生誕100周年記念・調布市平和祈念展」を開催し、名誉市民である水木しげる氏の作品を通して、世代を超えて多くの方に戦争・平和に関心を持っていただくとともに、地域の貴重な資源である水木氏の作品を多くの方に鑑賞いただく機会とした。「調布よさこい」では、共生社会の実現に向けた取組として、市主催のパラアート展と同時開催し、障害の有無や年齢、性別等にかかわらず誰もが文化芸術に触れることのできる機会の一層の創出を図った。 その他、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2023」など、地域コミュニティの活性化に加えて、観光やまちづくりなどと連携した多角的な事業展開を図った。 これらの取組を通じて市民における文化芸術活動の活性化に寄与した。
----	--

【ACTION】

今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	---

今後の取組の方向	今後も引き続き、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団と連携を図りつつ、様々な事業を通じて、市民が文化芸術に触れる機会を提供し、文化芸術活動の活性化につなげていく。令和5年度は、共生社会の実現に向けた取組として、パラアート展を実施するとともに、その応援企画として多くの方が参加し、大型アートを完成させるビッグハートプロジェクトを実施し、障害の有無や年齢、性別等にかかわらず誰もが文化芸術に触れることのできる機会の一層の創出を図る。なお、せんがわ劇場においては、次期指定管理者の選定への活用を検討し、更なるサービスの向上のほか、施設管理や事業の効率化の促進につなげる。
----------	---

施策20「文化芸術の振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	67	重点P	—			
	事務事業	文化芸術施設の維持保全・改修				総合戦略	●
後期※	計画コード	62	重点P	—			
	事務事業	芸術・文化施設の維持・補修				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 文化生涯学習課 文化生涯学習係							
<p>事業概要</p> <p>文化会館たづくり（平成7年竣工）及びグリーンホール（昭和52年竣工）について、施設・設備等が老朽化している状況を踏まえて、計画的な改修を行う。</p> <p>せんがわ劇場（平成20年竣工）について、計画的な改修を行う。</p> <p>グリーンホールについては、令和12年度を目途とした建替えに向け、公民連携による事業スキームの検討と併せ、ホール機能について、施設利用団体をはじめ広く市民から意見聴取を行い、整備に関する考え方を取りまとめている。</p>							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
〇「調布市公共施設等総合管理計画」に基づいた施設維持のための改修を実施。 〇「調布市基本計画」に基づき、各施設改修工事、グリーンホール及び文化会館たづくりの特定天井改修を実施。	〇文化会館たづくり施設改修工事等 〇グリーンホール施設改修工事等 〇せんがわ劇場施設改修工事等	〇文化会館たづくり施設改修工事等 ・設備更新型ESCO事業・非構造部材改修・調光設備更新・非常用電源設備整備 〇グリーンホール施設改修工事等 〇せんがわ劇場施設改修工事等 ・外壁及び屋上防水改修 〇グリーンホール整備に向けた取組	〇文化会館たづくり施設改修工事等 ・設備更新型ESCO事業・非構造部材改修・調光設備更新・非常用電源設備整備 〇グリーンホール施設改修工事等 ・受変電設備機器更新工事・大ホール非構造部材補強工事 〇せんがわ劇場施設改修工事等 ・外壁及び屋上防水改修 〇グリーンホール整備に向けた取組	〇文化会館たづくり施設改修工事等 ・設備更新型ESCO事業・非構造部材改修・調光設備更新・非常用電源設備整備 〇グリーンホール施設改修工事等 ・受変電設備機器更新工事・大ホール非構造部材補強工事 〇せんがわ劇場施設改修工事等 ・外壁及び屋上防水改修 〇グリーンホール整備に向けた取組
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	---	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	<p>指定管理者との定期的な会議や日常的な情報共有により、修繕等の優先度及び緊急性を精査し、より効果的・効率的な対応に努め、施設の貸出しへの影響を抑制することができた。</p> <p>主な内容としては、グリーンホールの受変電設備機器更新工事、大ホール非構造部材補強工事、文化会館たづくりの設備更新型ESCO事業、くすのきホールほか3箇所非構造部材改修、くすのきホールほか3箇所非構造部材改修に伴う機械設備、くすのきホールほか3箇所非構造部材改修に伴う電気設備、くすのきホール調光設備更新、映像シアター調光用負荷設備更新、非常用電源設備整備、駐車場装置吊チェーン・スプロケット更新、せんがわ劇場の外壁及び屋上防水改修工事を実施した。</p> <p>また、グリーンホール整備に向けた取組については、ホール機能検討支援業務委託として、市内文化施設及び市近隣文化施設の利用状況分析を実施した。</p>
----	--

【ACTION】

今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input checked="" type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	--

今後の取組の方向	<p>指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連絡を密に取る中で情報を共有し、施設の維持管理における各種対応の優先度、緊急性を把握し、引き続き、施設利用への影響を抑制する観点から、より効果的・効率的で計画的な予防保全・維持保全に努めていく。</p> <p>令和5年度は各施設において休館を伴う整備・改修工事等は予定していないが、修繕等による貸出し施設の一部利用制限等について、利用者にとってわかりやすい周知を行うこととする。また、文化会館たづくりの設備更新型ESCO事業による省エネ効果を検証するとともに、検証結果を踏まえた設備の維持管理に取り組むほか、災害時における施設活用等については、（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団と締結した災害時協力協定に基づく具体的な取組を検討する。</p> <p>新たなグリーンホールの整備に向けては、これまでの利用状況や規模等に係る分析結果などを踏まえ、オープンハウスやアンケート、ワークショップなどの実施により、市の取組状況について市民と共有を図るほか、利用者団体や有識者等で構成する検討会を設置し、新たなホールのコンセプトをはじめとするホール機能に関する検討を進める。</p>
----------	--